

令和8年度 事業計画書

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日

公益財団法人 明石文化国際創生財団

令和8年度 公益財団法人明石文化国際創生財団事業計画書

I. 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

公2 国際交流推進事業

II. その他事業等

他1 明石フィルハーモニー支援事業

近年、世界においては、国同士・民族同士の争いは止むことなく、外国人を排斥しようとする世論が勢いを増しており、異なる文化や考え方を尊重する多文化共生への意識の希薄化が危惧されています。

また、国内では「タイムパフォーマンス」「コストパフォーマンス」という言葉に象徴されるように、自分で考えたり時間をかけて取り組んだりすることよりも、AIなどを活用し、いかに手間をかけずに簡単に答えを出すかが優先される傾向があります。

このような国内外の社会情勢のもと、文化を守り、芸術を理解することは、ますます重要性を帯びてくると考えられます。

文化・芸術は、私たちに楽しさや感動、安らぎをもたらすとともに、他人を認め尊重する心を育みます。人が人として心豊かに生きていくためには、様々な文化・芸術に触れ、いろんな考え方や価値観の違いに触れるリアルな体験が何より大切です。

当財団では、ここ二年間、組織のミッション・ビジョンを検討してまいりました。そして、文化芸術や市民の国際交流の推進により社会全体の幸福度を底上げし、「こころ動かす文化芸術を一緒につくり」、「国籍や文化の違いを超えて認め合いまじわる架け橋になる」ことが我々に課せられた使命（ミッション）であるとの認識に至りました。

職員全員がこのような意識を新たにしながら、令和8年度の事業を進めてまいります。

文化芸術部門においては、まちかどイベントや学校・園へのアーティスト派遣を充実し、気軽に文化に触れることのできる環境づくりを進めるとともに、一流のアーティストによる質の高い芸術鑑賞イベントを開催し、心震える体験ができる機会の提供を図ります。また、地域の文化芸術の中間支援組織としての役割を果たせるよう、文化芸術活動・創作活動をする人たちに対する伴走・支援を引き続き行うなど、多くの人が満足を得られるよう事業を展開します。

国際交流部門においては、日本語学習支援、やさしい日本語の普及、各種相談への対応など在住外国人への支援を事業の本丸と位置付け、日本語学習支援や通訳翻訳等のボランティアの育成を進めるとともに、学習会や交流会を充実するなどボランティア支援を強化します。また国際理解セミナーや外国料理教室など異文化理解を促進する事業のほか、多言語絵本の読み聞かせ会や夏休み異文化体験など子ども対象の事業にも積極的に取り組み、多文化共生社会に向けて幅広い働きかけを行います。

これらの事業を通して、当財団が目指す「わくわくする明日とあなたと共に生きる社会を」の実現に向け努力していきます。

I. 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

心豊かで潤いと安らぎのある地域の実現に向け、明石市とも連携してだれもが良質な文化芸術に触れられる機会の提供に努めます。また各種公募展の開催や文化芸術活動への活動助成、伴走支援など市民の文化芸術活動の積極的な支援を進めます。

1 文化芸術事業の開催

幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験できるイベントや明石ゆかりの美術作家の作品展などを開催するとともに、創作活動を行っている個人・グループへの発表機会の提供に努めます。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサート

音楽を通じたまちの賑わいづくりや次世代育成の一環として、道行く市民が音楽に触れられるよう、まちかどで中高生などによる吹奏楽の演奏会を開催します。また年1回を西部市民会館で実施し、ホールでの発表機会を提供します。

[開催日] 偶数月の土曜日午後 年6回

[開催場所] あかし市民広場、西部市民会館

[出演者] 市内の中学校・高等学校・社会人の吹奏楽部・吹奏楽団

② ひとつぶのたねクラシックコンサート

明石にゆかりのある若手音楽家の活動の場となるワンコインコンサートを開催し、子どもから大人まで気軽にクラシック音楽を鑑賞できる機会を提供します。

[開催日] 奇数月の土曜日午後 年6回

[開催場所] 子午線ホール、市民会館中ホール、西部市民会館ホール

[出演者] クラシック系音楽家

③ 佐渡裕指揮 兵庫県芸術文化センター管弦楽団明石公演

世界的指揮者・佐渡裕氏が率いる兵庫県芸術文化センター管弦楽団のコンサートを開催し、国内最高水準のオーケストラ音楽の鑑賞機会を広く市民に提供します。また当日午後には、市内小学校で佐渡氏による特別授業を開きます。

[開催日] 9月17日(木)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 佐渡裕氏と兵庫県芸術文化センター管弦楽団

④ 吹奏楽の夕べ(明石市芸術祭)

市内で活動する様々な吹奏楽団体が一堂に会した演奏会を明石市芸術祭の一つとして開催し、広く市民に日頃の練習成果を披露します。

[開催日] 8月23日(日)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 市内の中学校・高等学校・一般の吹奏楽部、吹奏楽団約25団体

⑤ 音楽のつどい(明石市芸術祭)

市内外で活動する合唱団体が一堂に会した音楽会を明石市芸術祭の一つとして開催し、広く市民に日頃の練習成果を披露します。

[開催日] 11月3日(火・祝)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 市内及び近隣地域で活動する合唱団体約30団体

⑥ 明石薪能

歴史と文化の息づく明石のまちで、明石薪能の会が毎年薪能を開催しています。当財団はその事務局として主体的に運営に関わり、多くの市民に質の高い伝統芸能の鑑賞機会を提供します。今回は、天候の影響を受けることのない市民会館での開催を予定しています。

- [開催日] 10月3日(土)
- [公演内容] 能・狂言(演目未定)
- [開催場所] 市民会館大ホール
- [出演者] 上田能楽堂

また次世代育成の取り組みとして、上田能楽堂の協力を得て中学生以下の子どもを対象に伝統芸能を体験する連続講座を開催し、薪能当日に能舞台で発表する機会を設けます。

⑦ 「神秘の音色に包まれて～インドネシア文化と伝統芸能の世界」[新規]

ジャワ出身のアーティストらが結成した伝統芸能団を招いて、独特な音階と青銅打楽器の神秘的な音の重なりを楽しめるインドネシアの伝統芸能ガムラン演奏会を開きます。当日は、国際交流部門との合同事業として、インドネシアの暮らしや言語などの文化を学ぶ国際理解セミナーを同時開催します。

- [開催日] 8月22日(土)
- [内容] ガムランの演奏とワヤンの上演、国際理解セミナーの開催など
- [開催場所] 子午線ホール
- [出演者] インドネシア伝統芸能団「ハナジョス」

(2) 美術展、作品展等

① MERIDIAN美術展

明石にゆかりのあるアーティストの作品展を開催し、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しています。今年度は、明石出身で鉄道会社、バス会社で多くのイラストやデザインを担当する乗り物イラストレーター・井上広大氏の作品展を開催します。

- [開催時期] 2月27日(土)～3月7日(日)
- [開催場所] 文化博物館ギャラリー

② アスピアギャラリーストリート

商業施設の一画に美術作品を展示できるスペースを確保して、明石周辺で創作活動を続けている新進作家の発表の場として提供するとともに、市民が気軽に美術作品を鑑賞できる機会の提供に努めます。

- [開催日] 年間10回程度
- [開催場所] ギャラリーストリート(アスピア明石南館1階)
- [出展者] 明石にゆかりのある新進美術作家

③ コミュニケーションアート展

動物を模したゴミ収集車のデザインやおもしろ身長計など多彩なアートを幅広く手掛けているタムラヒデカズ氏の作品を展示します。アートを介して周りとのふれあいを広げる「コミュニケーションアート」という新しいジャンルの芸術の紹介と併せ、ゴミ減量化など環境問題を考えます。

- [開催時期] 3月ごろ(約1週間)
- [開催場所] あかし市民広場

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

次代を担う将来有望なアーティストの活動を支援することにより、多様なジャンルのアート

活動を広く市民が体感・体験できる機会を提供します。

i) アートパフォーマンスフェスタ in あかし

明石市では11月を「あかし文化芸術月間」と位置付け、地域に息づく文化や芸術に触れる中で心の豊かさや優しさを育み、人と人がつながる「文化芸術のまちづくり」を推進しています。同月間のメインイベントとして、市内外の多様な分野のアーティストによるワークショップやステージ等を開催します。市民が気軽にアートに触れ体験できる機会として、「あかCネット」で相互連携している市内文化施設との共催により行います。

[開催日] 11月22日(日)

[開催場所] あかし市民広場

[出演者] 明石市及び近隣地域で活動するアーティスト

ii) あかしDEミュージカル9

市内で活動する舞台芸術関係者と連携し、子どもを含む公募の演者たちに舞台芸術の体験発表機会を提供するとともに、市民への演劇を鑑賞できる機会提供に努めます。

[開催日] 7月25日(土)

[開催場所] 市民会館中ホール

[演目] 『ガラクタ横丁の天使』

[出演者] 公募の若者(小・中・高・大学生)を含む市内で活動する舞台芸術関係者

iii) 坂本彩プロデュース 明石クラシックコンサート

明石出身のピアニスト・坂本彩氏プロデュースのもと、実力ある若手音楽家によるコンサートを企画してその活動を支援するとともに、良質なクラシック音楽を市民に提供します。

[開催時期] 2月ごろ

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 坂本彩氏および若手クラシック演奏家

iv) 子ども伝統芸能体験 [再掲]

次世代育成の取り組みとして、上田能楽堂の協力を得て中学生以下の子どもを対象に伝統芸能を体験する連続講座を開催し、薪能当日に能舞台で練習成果を発表します。

[開催日] 10月3日(土)

[開催場所] 市民会館大ホール

v) 中高生ビッグバンドの育成

中高生をメンバーとするジャズのビッグバンドを、プロや市民演奏家の協力を得て指導・育成します。部活の在り方が見直される中、中高生の課外活動の選択肢を増やすとともに、若い世代のジャズへの関心を高めることで、幅広い芸術分野における次世代育成とより一層活気ある音楽のあふれるまちづくりを進めます。

[活動日] 月2回程度

[活動場所] 西部市民会館 ホール、練習室

[発表機会] 市内外でのミニライブやジャズイベントへの出演

vi) 家藤正人 ジュニア句会ライブ

児童が文芸に親しみその楽しさを知るきっかけとなるよう、昨年度に引き続き、テレビなどでも活躍する俳人の家藤正人氏を講師に迎え、小学生対象の俳句イベントを開催します。

[開催時期] 8月8日(土)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[講師] 家藤正人氏

② 明石市合同芸術祭

明石市芸術祭を明石市、各文化芸術団体と合同で開催することにより、団体同士のコラボやワークショップでの交流を通じて、それぞれの活動の一層の活性化を図ります。また、多くの市民が様々な芸術に親しむことができる機会となるよう努めます。

[主な内容]

- ダンスカーニバル
市内外で活動する洋舞団体によるダンスパフォーマンスの発表イベント
- いけばな展
市内外で活動するいけばな団体が一堂に会した作品展
- お茶会
市内外で活動する茶道団体による茶会
- 邦舞・邦楽のつどい
市内外で活動する邦舞・邦楽分野の団体による伝統文化の発表会
- その他、明石市文化団体連合会に所属する団体によるワークショップなどを予定

[開催日] 10月24日(土)、25日(日)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[出演者] 明石市文化団体連合会に所属する13団体を中心とする文化グループ

③ アーティスト連携事業

明石にゆかりのあるアーティストの活動支援、連携した事業を行うことで、多くの市民が多様な芸術に触れる機会を提供します。また、多分野のコラボによる作品を披露する場を提供することで、アーティストの創作意欲向上と、斬新なアート創造への機運醸造を図ります。

- 本気で怖いきもだめし(企画・運営:ヘッドアートプロジェクトチーム)

明石で生まれた新しい芸術「ヘッドアート」を発信し続けているプロジェクトチームへの活動支援の一つとして、特殊メイクと演劇のワークショップ受講者とともに実施する「きもだめしイベント」を共催します。

[開催日] 8月2日(日)

[開催場所] 岩屋神社(明石市材木町)

- 明石アーティスト協会による創作作品の披露

市内で活動するアーティストが協働して、ジャンルを超えた新たなアートを創出する緩やかな連携組織である明石アーティスト協会。当財団の声掛けにより結成された同協会のアーティスト同士がコラボして創作した作品の披露を支援します。

今年度は新たな試みとして、朗読劇とタップダンス、音楽の演奏を融合した舞台パフォーマンスを市内幼稚園で上演し、幼い子どもに生の文化芸術に触れる楽しみを経験してもらいます。

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 明石市美術展(明石市芸術祭)

県内から美術作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品を選出・表彰する展示会を開催します。市民の創作意欲向上に加え市民に美術を身近に感じてもらえる機会を提供します。

[展示期間] 11月中旬～下旬

[開催場所] 文化博物館ギャラリー

[募集部門] 洋画、日本画、書道、彫刻工芸、写真の各分野

[応募者] 一般および小・中学生

② 明石市文芸祭

市内外から公募した文芸作品から市長賞をはじめとする優秀作品を選出・表彰するとともに

入選作品集「ことのはものがたり」を発行し、市民の文芸作品への関心や創作意欲の向上を図ります。また小学生向け俳句イベントを夏休み期間中に開催し、ジュニア部門への応募を促進します。

- [表彰時期] 3月下旬
- [開催場所] 子午線ホール
- [募集部門] 俳句、短歌、川柳、詩、随筆、小説、児童文学の各分野
- [応募者] 一般および小・中学生

③ 名刺デザインコンテスト

若手アーティストの発掘・育成を目的として、県立明石高校美術科の生徒を対象に名刺デザインを募集します。入賞作品は財団職員が1年間名刺として使用するほか、希望する人がフォーマットを使用できるよう当財団ホームページで公表・提供します。

- [スケジュール] 9月募集、12月表彰
- [応募者] 県立明石高校美術科の生徒

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校等へのたこフィル派遣事業

明石フィルハーモニー管弦楽団（たこフィル）のアンサンブルやオーケストラを市内の学校や福祉施設へ派遣し、良質な音楽の生演奏を提供します。

- [派遣対象] 市内の小・中・養護学校、障害者施設、高齢者施設等
- [派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団

② 明石弦楽オペラ会の学校派遣事業

明石在住またはゆかりのある音楽家で構成される明石弦楽オペラ会を市内の学校に派遣し、総合芸術であるオペラの鑑賞機会を提供します。

- [派遣回数] 年3回程度
- [派遣対象] 市内の小・中・養護学校
- [派遣アーティスト] 明石弦楽オペラ会（10人程度）

③ 明石アーティスト協会の幼稚園派遣事業（再掲）

明石ゆかりの芸術家コミュニティである「明石アーティスト協会」を市内幼稚園に派遣し、朗読劇やタップダンス、音楽演奏などを融合した舞台パフォーマンスを上演。幼い子どもに生の文化芸術に触れる楽しみを経験してもらいます。

- [派遣回数] 年3回程度
- [派遣対象] 市内の幼稚園
- [派遣アーティスト] 明石アーティスト協会メンバー（3人程度）

④ 佐渡裕氏による小学校特別授業（再掲）

世界的指揮者・佐渡裕氏の市内コンサート当日の本番前に、佐渡氏本人が市内小学校を訪れて、児童たちと交流しながら音楽の楽しさを直接伝える特別授業を行います。

- [開催日] 9月17日(木)午後
- [開催場所] 市内の小学校・養護学校
- [講師] 佐渡裕氏

2 文化芸術活動支援事業

地域における文化芸術の中間支援組織として、アーティストや文化団体、地域住民、行政を結ぶコーディネート機能を充実させるとともに、活動の土台となるプラットフォームを提供し、情報の発信、共有を行います。さらに活動への助言や斡旋、助成にも積極的に取り組み、市民の文化芸術活動への支援を進めます。

(1) コーディネート機能を充実させ、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① あかCネット（文化芸術関係施設・機関ネットワーク）

市内の文化施設や文化芸術に関連する中間支援組織が定期的な情報交換会を行うなかで、連携を深めています。当財団が事務局機能を担い、組織連携により文化芸術、観光、地域づくりなどの幅広い視点を持って事業を展開します。

また11月のあかし文化芸術月間ではイベントの共催などにより全体の盛り上げを図るほか、各団体の要望に応じてアーティスト情報を提供するなど通年的に連携強化を図ります。

[参加団体] 文化施設：天文科学館、文化博物館、市民会館、市立図書館

中間支援組織：明石コミュニティ創造協会、明石観光協会

② 文化芸術にかかる連合組織及び他組織との協力イベントの支援

明石市文化団体連合会、明石薪能の会、明石市文芸祭実行委員会等の事務局を担い、事業運営を通じて文化芸術に関わる人や団体、企業が円滑に連携できるようコーディネートを行います。

③ アートマネジメント講座

美術、音楽や演劇などの企画から実施、資金集めや広報などの実践的な技能に加え、アートと社会の関わり方に至るまで、アートイベントの開催に関する様々なノウハウをともに学び、ともに考え、ともに実践していくためのアートマネジメント講座を開催します。

(2) プラットフォームの提供や情報共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

機関紙等を発行して財団事業をPRするとともに、市内で開催される文化芸術イベントや活躍するアーティスト、文化財など、地域の文化芸術に関する情報を広く紹介します。

i) 財団機関紙「創生」の発行（年3回、各回3,300部）

財団事業のほか、市内の文化芸術に関するトピックスや文化財などを紹介し、市民の文化芸術活動を支援します。

ii) フリーペーパー「MEIBUNGEI」の発行（隔月発行、各回3,000部）

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を促進します。

② 文化芸術情報の発信

i) メールマガジンの配信（毎月1回、約1,000カ所）

財団事業や市内で開催される各種文化芸術事業、活躍するアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を促進します。

ii) ウェブサイトによる情報発信、SNS・動画の活用、広告掲載等による広報宣伝

最新情報をスムーズに取得できるよう、ウェブサイトの適宜更新や魅力あるサイト構築に努めるとともに、SNSや動画の一層の活用を進めます。また、LINEでのチケット販売等により利便性向上を図ります。

また新聞や情報紙などの紙媒体については、幅広い年代層へのアプローチが効果的に行える利点があることから、他の媒体と重層的に活用することで広く市民に文化芸術への興味喚起を図ります。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

地域の文化芸術の発展に意欲のあるアーティストを登録してデータベース化し、ウェブサイトで公開します。また、文化財や文化施設、民間の文化芸術活動に関する各種教室などの情報についても、文化芸術関係のデータベースの1つとして各種媒体に掲載します。

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術振興助成事業

明石市内で文化芸術活動を行う団体やアーティストに対して、活動経費の一部を助成します。市民の文化芸術活動を支援するとともに、市民や子どもたちが文化芸術を身近に触れ親しむ機会創出を図ります。

i) 文化芸術振興活動助成金

本市における文化芸術の振興を図るため、市民が行う文化芸術の創造・鑑賞・参加のための事業に係る経費の一部を助成します。

[助成額] 1団体10万円以内(対象経費の3分の1を上限)

ii) 子ども文化芸術活動助成金

18歳以下の子どもたちが文化芸術に触れ親しむ機会を増やすため、文化芸術に携わる次世代の育成を図る事業に係る経費の一部を助成します。

[助成額] 1団体10万円以内(対象経費の2分の1を上限)

② 相談への助言、斡旋等

明石を中心に活動するアーティストや文化芸術活動を行う市民団体からの相談に応じ、事業の進め方などを助言し、費用の一部助成、広報などにおける支援や伴走を行います。支援を通じ、本市の文化芸術に関する課題やニーズを把握し、新たな事業展開に生かしていきます。

i) アーティスト活動助成

相談を受けた活動のうち、公益性があり当財団の支援が必要であると認める芸術活動について、発表などに要する費用の一部を助成し、伴走支援を行います。

ii) タコタコジャズフェスティバル実行委員会への支援

市内のアマチュアジャズ演奏家・愛好家の団体が企画運営するジャズイベントの共催者として費用の一部を助成するとともに、広報面でも伴走支援を行います。

iii) 文化芸術関係施設、機関との連携

市内関連施設とのネットワーク「あかCネット」で構築している関係性を生かして、アーティスト紹介やイベントの共催など各組織と連携した取り組みを進めます。

- ・図書館ミニコンサートへのアーティスト派遣
- ・文化博物館 若手アートチャレンジ

③ 後援名義の使用許可

市内で広く市民を対象とした文化芸術イベントを行う団体に対して、後援名義の使用許可を出すことで、各種イベントや活動の支援を行います。

公2 国際交流推進事業

多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、明石市とも連携するなかで市民の国際交流や多文化共生社会の実現に向けた事業を推進します。

1 国際理解に関する事業

市民と在住外国人の相互理解を深めるため、他国の文化や国際情勢について学ぶことのできる講座や、日本の文化を通じて在住外国人と交流できる事業を開催します。また、それらの事業に関する情報が一人でも多くの人に届くよう、広報活動の充実に努めます。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々がお互いを尊重し、ともに快適に暮らすことができる地域社会の実現に向けて、多文化料理教室を含め外国人講師等から学ぶセミナーを開催します。

うち1回は文化芸術部門との合同事業として、インドネシアの伝統音楽・ガムランコンサートと同時開催で「神秘の音色に包まれて～インドネシア文化と伝統芸能の世界」を予定しています。

[開催回数] 4回程度

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 日本文化の鑑賞・体験

市民と在住外国人と一緒に日本の伝統文化を体験・鑑賞できる機会として、明石薪能や合同芸術祭への参加を呼びかけ、日本文化を通じた交流の推進を図ります。

○ 明石薪能鑑賞（伝統文化の鑑賞） 10月3日（土）

○ 合同芸術祭参加（いけばな、お茶などの体験）10月24日（土）～25日（日）

② 子ども異文化体験

子どもたちが外国の文化に楽しく触れる機会を提供し、異文化を身近に感じることで、多文化共生社会への理解を深めます。

[開催回数] 2回程度（夏休み期間中）

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

③ 多言語絵本読み聞かせ会

普段からなじみのある絵本の日本語と外国語での読み聞かせを通じて、子どもたちに他国の言語や文化への関心を持つきっかけにしてもらうとともに、多文化共生社会や他者のアイデンティティについての理解促進を図ります。

[開催回数] 2回程度

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかしほか

(3) 広報活動の推進

① 広報活動の推進

財団機関紙、ウェブサイト、メールマガジン、SNS等を通じて、財団事業の広報だけでなく、国際交流や多文化共生事業を進めている団体・個人の情報を広く紹介し、多様な世代の国際交流活動を促進します。

② 財団チラシ（多言語版）の作成

財団の活動や事業内容を在住外国人に広く周知を図るため、財団チラシの英語等の多言語版を作成します。

2 国際交流・協力に関する事業

市民の国際交流を推進するため、通訳や翻訳、日本語学習支援など各種ボランティアの育成を進めるとともに、在住外国人への支援や多文化共生活動に取り組む地域団体に助成を行います。また明石市の姉妹都市、友好都市との交流事業に協力し、市民レベルの交流が進むようコーディネートを行います。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

市民主体の国際交流活動や外国人住民との交流事業を展開していくため、広報紙やウェブサイトなどでボランティアを広く募集・登録し、派遣先からの要請に応じて派遣します。

[登録者数] 約300人

[派遣先] 市内の学校、団体など

[主な活動内容]・日本語学習支援 = 市内在住外国人を対象とした日本語の学習指導
・翻訳・通訳 = 訪問外国人に対する通訳やパンフレットの翻訳など
・ホームステイ、ホームビジット = 家庭での外国人受け入れ
・ゲストティーチャー = 学校での特別授業など

② ボランティア養成講座

○ 日本語学習支援ボランティア養成講座・ブラッシュアップ講座

日本語を学びたい在住外国人は年々増加し続けており、学習を支援するボランティアの養成講座を開催します。また、指導力向上のためのブラッシュアップ講座を随時開催し、ボランティアが安心して活動できる体制を整えるとともに、在住外国人の日本語学習環境の整備に努めます。

[開催時期] 未定

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[対象者] 当財団で在住外国人への日本語学習支援活動ができる人

○ 英語翻訳・通訳ボランティアブラッシュアップ講座

地域で生活する外国人を支える翻訳・通訳ボランティア等に対して、英語力の維持及び向上を図るための講座を実施します。

[開催期間] 4月～6月（10回コース）

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[対象者] 当財団で翻訳・通訳ボランティアとして活動できる人

○ 多言語ボランティア基礎講座

英語圏以外の外国人が増えていることから、英語以外の言語の日常会話やその国の文化を学ぶことができる基礎講座を実施します。

[開催時期] 未定（6回コース、2クール）

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[学習言語] 未定

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流活動助成事業

在住外国人の居場所づくりや青少年の国際交流活動など、市内における国際交流や多文化共生に係る活動を支援・促進するため、市民団体が行う事業に助成金を交付します。

[助成額] 1団体 年間6万円以内（対象経費の2分の1を上限）

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

① 姉妹都市・友好都市交流事業

明石市からの受託事業として、姉妹都市・米国バレホ市や友好都市・中国無錫市との市民間交流を支援します。

- i) 無錫市との交流では、青少年交流団の派遣や無錫市からの訪問団の歓迎行事の開催、市民との交流事業の企画などを行います。
- ii) バレホ市との交流では、市民交流団が来明した際の受入れやホームステイ先の紹介、明石から市民交流団が派遣された場合の現地での滞在先の斡旋などを行います。

3 多文化共生に関する事業

市内在住外国人が日本への理解を深め、地域のなかで安心して暮らしていけるよう、簡単な日本語や日本の生活習慣を学ぶ機会を提供するとともに、困り事への相談対応や多言語での情報発信を進めることで、日本人である明石市民と様々な母国を持つ市内在住外国人が、自分たちの文化や価値観を理解し共生していける地域社会づくりをめざします。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習会「いろはクラブ」の運営

市内に在住する外国人が、日本語学習を支援する登録ボランティアから日常生活に必要な日本語をマンツーマンで学ぶことができる学習会「いろはクラブ」を運営します。

また、就学前の子どもを持つ市内在住外国人が、周りに気兼ねなく学習できる環境を整えるため、目の届くところに子どもを連れてこられる託児付きの日本語学習会「和室いろは」を引き続き開催します。

[開催時期] 通年

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[指導者] 日本語学習支援ボランティア

[対象者] 市内在住外国人で日本語を学習する意思のある18歳以上の人

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活情報等の翻訳

市内で生活する外国人へのサポートとして、行政と翻訳・通訳の登録ボランティアを繋ぎ、防災や健康・福祉・保健など行政からの生活情報等の外国語翻訳を支援します。

② 生活相談のサポート

市内に在住する外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して適切な窓口を紹介し翻訳・通訳の登録ボランティアを派遣するなど、多言語による生活相談をサポートします。

③ SNSによる情報提供

市内に在住する外国人に役立つ情報を、やさしい日本語等を活用し、SNSを通じて提供します。

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流広場

地域で生活する外国人と市民、また外国人同士がレクリエーションや日本文化などを通じて気軽に交流し、相互理解を深める機会を提供します。

[開催回数] 3回程度

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし ほか

② やさしい日本語講座

外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語講座」を市内コミセン等で開催します。ワークショップ形式で楽しみながら外国人とのコミュニケーションを学ぶことにより、外国人住民が受け入れられる地域づくりに寄与します。

[開催回数] 3～4回

[開催場所] 市内各所

II. その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団（たこフィル）及び明石フィルハーモニー・ジュニアオーケストラ（たこフィルジュニア）が演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラの運営を自主的に行っていけるよう助言します。

また、演奏会場、練習会場・楽器倉庫の確保、並びに後援会組織「たこフィル倶楽部」の運営などを引き続きサポートします。